

露店開設自主点検表

確認日	年 月 日
確認者氏名	

	確認項目	適	否
開設場所	① 防火水槽、消火栓等消防水利の妨げになっていないか。		
	② 消防自動車等の緊急車両進入路の妨げになっていないか。		
	③ 避難通路の妨げになっていないか。		
防火管理	① 火災発生時の消火、通報、避難誘導の担当者を決めているか。		
	② 火気使用器具の周囲は、整理及び清掃されているか。		
	③ 火気使用器具は、安定した不燃性の床、台又は板の上で使用しているか。		
	④ 露店等の関係者に消火器の取扱い方法等を徹底しているか。		
	⑤ コンロの周囲は、可燃物から側方15cm以上、上方1m以上の距離を保っているか。		
消火器	① 設置数は適正か。(原則、火気使用店舗に1本以上)		
	② 業務用の消火器を設置しているか。		
	③ 消火器に腐食や傷は無いか。		
LPガス	① ボンベは、火気から離れた直射日光の当たらない通気の良い場所に設置しているか。		
	② ボンベは、転倒防止策を施し、観客等と区画されているか。		
	③ ボンベは、1日の営業に必要な本数のみか。		
	④ LPガスを使用する器具及びゴム製のホースは、LPガス専用のものを使用しているか。		
	⑤ ゴムホースは適正な長さで、ひび割れ等の劣化がないものか。		
	⑥ 火気使用器具とホースの接続が確実であり、ホースバンドで固定しているか。		
	⑦ 三又分岐金具を使用していないか。		
	⑧ 1本のボンベから複数に分岐させる場合、それぞれに開閉弁を設けているか。		
ガソリン容器	① ガソリン容器は消防法令に適合した金属容器を使用し、キャップを確実に閉めているか。		
	② ガソリン等の保管は、火気から離れた通気の良い場所か。		
	③ ガソリン容器は発電機のマフラー付近等危険な場所に置かない。		
	④ ガソリン等の取扱い場所は、火気や高温部から安全な距離を保っているか。		
携帯発電機	① 発電機は、安全な場所に設置し、観客等と区画されているか。		
	② 運転中の燃料給油が危険であることを理解しているか。		
	③ 催し開催中のやむを得ない燃料給油場所は、火気使用器具、観客等から十分安全な距離を保った場所を確保しているか。		

※1 確認者は、確認項目について判定し適否欄に○を付すること。

※2 送電電気を使用できる場合は、携帯発電機を使用させないこと。

※3 露店等の開設届出書の副本とともに、この点検表を保管すること。

資料 1 露店の開設時における注意事項

1 消火器

- ☐ 業務用の消火器を使うこと（住宅用消火器・エアゾール式消火器・水バケツ等は使わない）
- ☐ 容器の圧力計が低下したものを使わないこと（薬剤が出ないため）
- ☐ 容器が劣化・腐食したものを使わないこと（容器が破裂するかもしれない）

水バケツ



エアゾール式簡易消火器具



住宅用消火器



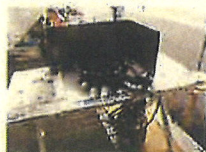
業務用消火器



圧力計は緑の範囲が正常（低いと消火薬剤が出ない）

2 プロパンガスなど

- ☐ 直射日光を避け、火気の近くに置かないこと。火気からは2m以上離す、難しい場合はレンジガードや鉄板等で熱を遮断する。



レンジガードや断熱材で断熱処理をし、プロパンを置いた例（ボンベや釜に熱を加えない）

- ☐ ひび割れたホース、古いホースを使わないこと。



- ☐ 三又分岐金具を使わない（法令により禁止 2口ヒューズコック付きガス弁等はOK）

- ☐ ボンベは転倒しないよう水平な場所に置き、チェーンやロープで固定すること。

- ☐ 風とおしの良い場所で使用すること。

3 対象火気使用器具（※）など

- ☐ 不燃性（鉄製・石膏ボード）の台の上か、断熱材等の上で使用する（アルミホイル等敷いてもOK）。
- ☐ たこ足配線をしないこと。
- ☐ 火気のまわりに燃えやすいもの、可燃物を置かないこと。
- ☐ 使用中、火気のそばを離れないこと。
- ☐ カセットボンベ等を使う場合、装填部分を調理器具でおおわないこと（熱でボンベが破裂する）。

「対象火気器具」とは

液体・固体・気体燃料を使用する器具や電気を熱源とする器具で、火を使用する器具または、使用することによって火災の発生のおそれがある器具のことをいいます。

コンロ



グリドル



角電機



かまど



わた菓子機



電気コンロ



4 発電機

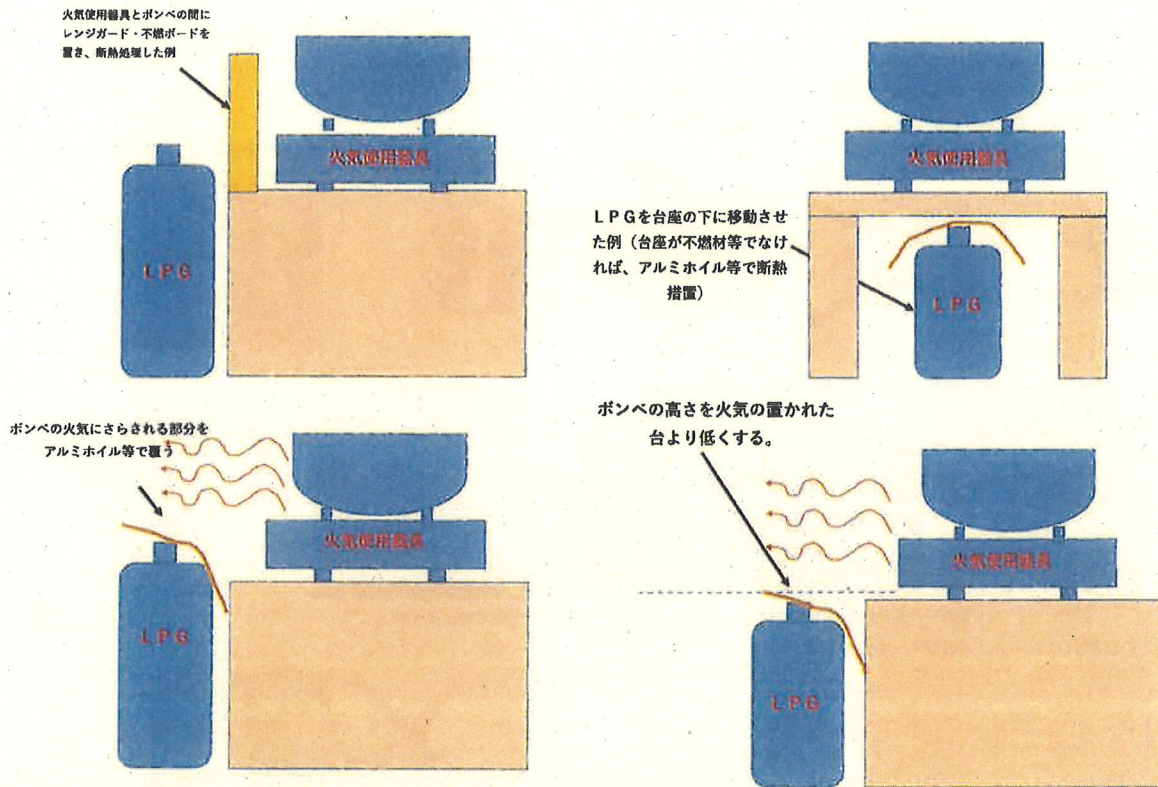
- ☐ 使用前に燃料を満タンにし、給油しなくて済むようにすること。やむを得ず給油する場合、エンジンを止め、まわりに可燃物等がない風通しの良い安全な場所で行うこと。
- ☐ 発電機のマフラー付近にガソリン携行缶を置かない。
- ☐ 給油の際、燃料携行缶のキャップを開けた時に燃料が吹き出すことがあるので、ガス抜き栓でガス抜きをすること。
- ☐ 燃料携行缶は直射日光を避け、風とおしの良い木陰等で保管すること。

5 照明器具

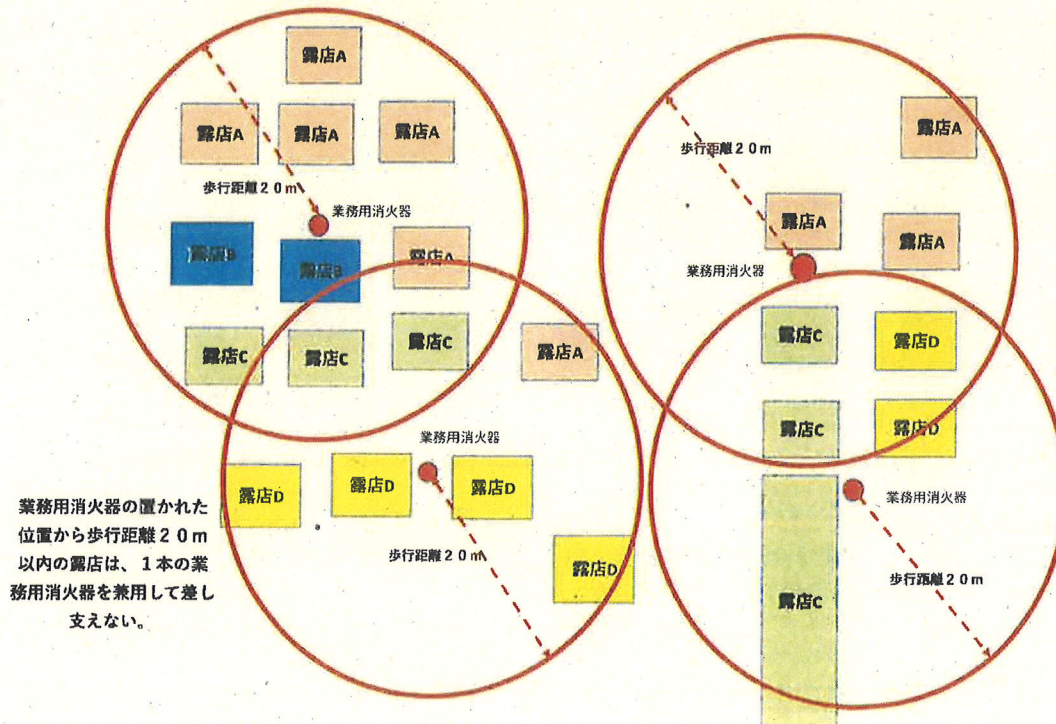
- ☐ 紙等燃えやすいものの近くで照明器具を用いると発火の恐れがあるため、距離をとるなど十分注意すること。

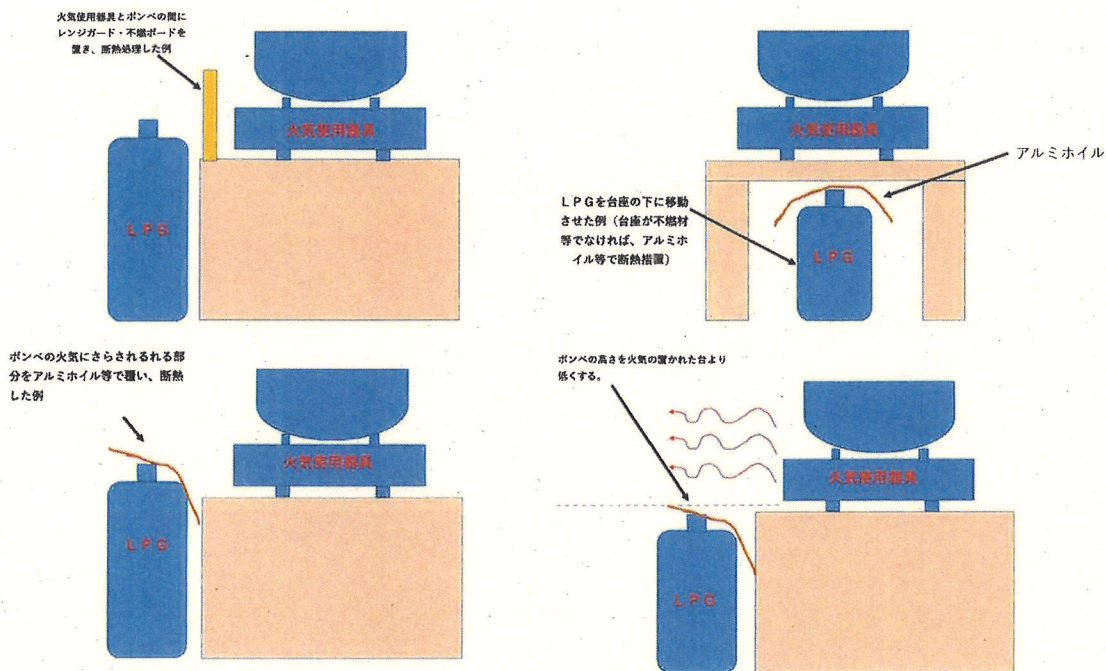
資料2 プロパンボンベの断熱処理例・複数店舗に対する消火器設置例

プロパンボンベ 離隔距離が取れない場合の断熱処理の例

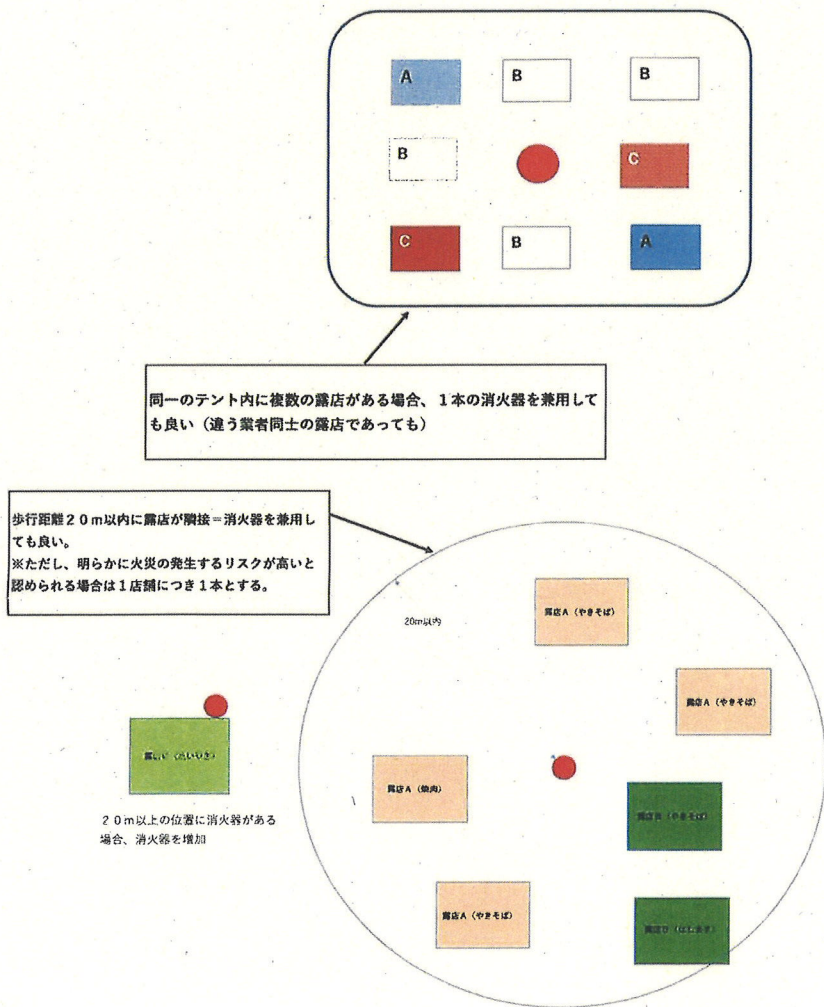


複数店舗に対する業務用消火器の設置（歩行距離20m以内）





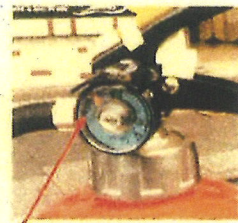
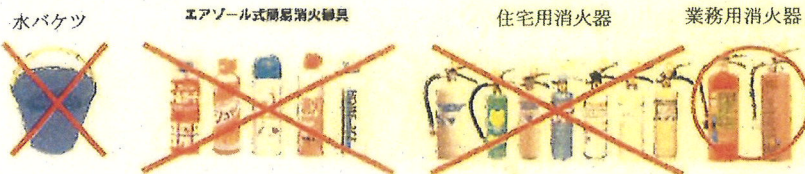
複数露店店舗に対する消火器の設置 (例)



露店の開設時において守るべきこと

1 消火器

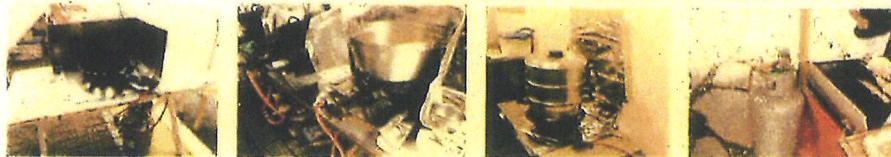
- ☐ 業務用の消火器を使うこと（住宅用消火器・エアゾール式消火器・水バケツ等は使わない）
- ☐ 容器の圧力計が低下したものを使わないこと（薬剤が出ないため）
- ☐ 容器が劣化・腐食したものを使わないこと（容器が破裂するかもしれない）



圧力計は緑の範囲が正常（低いと消火薬剤が出ない）

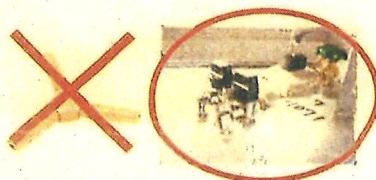
2 プロパンガスなど

- ☐ 直射日光を避け、火気の近くに置かないこと。火気からは2m以上離す。難しい場合はレンジガードや鉄板等で熱を遮断する。



レンジガードや断熱材で断熱処理をし、プロパンを置いた例（ボンベや壁に熱を加えない）

- ☐ ひび割れたホース、古いホースを使わないこと。



- ☐ 三又分岐金具を使わない（法令により禁止 2口ヒューズコック付きガス弁等はOK）
- ☐ ボンベは転倒しないよう水平な場所に置き、チェーンやロープで固定すること。
- ☐ 風とおしの良い場所で使用すること。

3 対象火気使用器具（※）など

- ☐ 不燃性（鉄製・石膏ボード）の台の上か、断熱材等の上で使用する（アルミホイル等敷いてもOK）。
- ☐ たこ足配線をしないこと。
- ☐ 火気のまわりに燃えやすいもの、可燃物を置かないこと。
- ☐ 使用中、火気のそばを離れないこと。
- ☐ カセットボンベ等を使う場合、装填部分を調理器具でおおわないこと（熱でボンベが破裂する）。

「対象火気器具」とは

液体・固体・気体燃料を使用する器具や電気を熱源とする器具で、火を使用する器具または、使用することによって火災の発生のおそれがある器具のことをいいます。



4 発電機

- ☐ 使用前に燃料を満タンにし、給油しなくて済むようにすること。やむを得ず給油する場合、エンジンを止め、まわりに可燃物等がない風通しの良い安全な場所で実施すること。
- ☐ 発電機のマフラー付近にガソリン携行缶を置かない。
- ☐ 給油する際、燃料携行缶のキャップを開けた時に燃料が吹き出すことがあるので、ガス抜き栓でガス抜きをすること。
- ☐ 燃料携行缶は直射日光を避け、風とおしの良い木陰等で保管すること。

5 照明器具

- ☐ 紙等燃えやすいものの近くで照明器具を用いると発火の恐れがあるため、距離をとるなど十分注意すること。